

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式 特化型	
信託期間	2019年3月15日[当初、2023年3月15日]まで (2018年3月5日設定)	
運用方針	AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてオーストラリアの株式に投資を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。マザーファンドの株式等の運用にあたっては、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。	
主要運用対象	ベビーファンド	AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	オーストラリアの株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

- ファンドは特化型運用を行います。一般社団法人投資信託協会は信用リスク集中回避を目的とした投資制限(分散投資規制)を設けており、投資対象に支配的な銘柄(寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い銘柄)が存在し、又は存在することとなる可能性が高いものを、特化型としています。
- ファンドは、オーストラリアの株式等に実質的に投資します。オーストラリアの株式等には、寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い支配的な銘柄が存在するため、特定の銘柄への投資が集中することがあり、当該支配的な銘柄に経営破綻や経営・財務状況の悪化が生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。
* 寄与度とは、投資対象候補銘柄の時価総額の合計額における一発行体あたりの時価総額が占める比率または運用管理等に用いる指数における一発行体あたりの構成比率を指します。

償還報告書(全体版)

[繰上償還]

オーストラリア高配当株式ファンド (年2回決算型)

信託終了日：2019年3月15日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「オーストラリア高配当株式ファンド(年2回決算型)」は、約款の規定に基づき、先般ご案内申し上げました予定通り、3月15日に繰り上げて償還させていただきました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
(受付時間：営業日の9:00~17:00、
土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			（ 参 考 指 数 ） S & P / A S X 200指数		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配	み 期 中 金 騰 落 率	(配当込み、 円換算ベース)	期 中 騰 落 率			
(設定日)	円 銭	円	%		%	%	%	百万円
2018年3月5日	10,000	—	—	10,000	—	—	—	200
1期(2018年9月18日)	10,199	0	2.0	10,452	4.5	93.8	—	10
(償還時)	(償還価額)							
2期(2019年3月15日)	10,170.08	—	△0.3	10,554	1.0	—	—	10

- (注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
- (注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。
- (注) S & P / A S X 200指数とは、S & Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが公表している指数で、オーストラリア証券取引所上場の浮動株調整時価総額上位200銘柄で構成される時価総額加重平均指数です。S & P / A S X 200指数（配当込み、円換算ベース）とは、S & P / A S X 200指数（配当込み）をもとに、委託会社が計算したものです。S & P / A S X 200 はS&P Dow Jones Indices LLC（「SPDJI」）の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社に付与されています。Standard & Poor's[®]およびS&P[®]はStandard & Poor's Financial Services LLC（「S&P」）の登録商標で、Dow Jones[®]はDow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJIに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社にそれぞれ付与されています。当ファンドは、SPDJI、Dow Jones、S&Pまたはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P / A S X 200指数の誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません。
- (注) 参考指数にはリートが含まれておりますが、実際の運用ではリートには投資していない点にご留意ください。
- (注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。
- (注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。
- (注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。
- (注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) S & P / A S X 200指数 (配 当 込 み 、 円 換 算 ベ ー ス)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	円 銭	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2018年 9 月 18 日	10,199	—	10,452	—	93.8	—
9 月 末	10,416	2.1	10,674	2.1	91.8	—
10 月 末	9,565	△ 6.2	9,832	△ 5.9	96.2	—
11 月 末	9,918	△ 2.8	10,160	△ 2.8	96.8	—
12 月 末	9,093	△ 10.8	9,295	△ 11.1	95.1	—
2019年 1 月 末	9,672	△ 5.2	9,896	△ 5.3	97.2	—
2 月 末	10,209	0.1	10,460	0.1	96.7	—
(償還時) 2019年 3 月 15 日	(償還価額) 10,170.08	△ 0.3	10,554	1.0	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

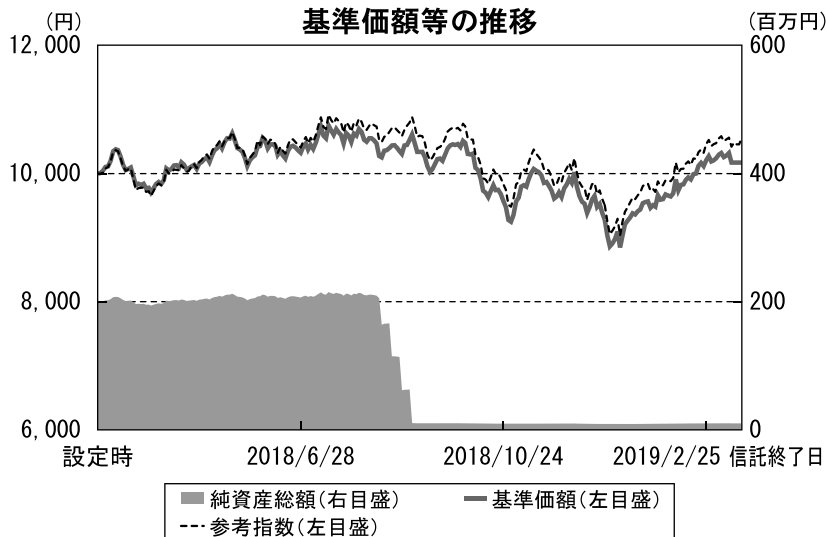
運用経過

設定来の基準価額等の推移について

（第1期～第2期：2018/3/5～2019/3/15）

基準価額の動き

償還価額は設定時に比べ1.7%の上昇となりました。



- ・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。



実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

上昇要因	保有銘柄の株価が上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	豪ドルが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

（第1期～第2期：2018/3/5～2019/3/15）

◎株式市況

- ・ 設定以来のオーストラリア株式市況は上昇しました。
- ・ 2018年9月にかけては、良好な豪州の経済指標が発表されたことや米国株式市況が堅調に推移したことなどが好感されて上昇しました。その後2018年末にかけては、米中貿易摩擦への懸念や世界経済に対する不透明感が高まったことなどをを受けて、リスク回避姿勢が強まり、下落しました。2019年初から償還にかけては国際商品市況の上昇や米中通商協議の進展期待などを背景に上昇しました。信託期間を通じてみますと上昇しました。

◎為替市況

- ・ 豪州金利が低下したことを受けて本邦との金利差が縮小したことや米中貿易摩擦に対する懸念等から豪ドルは対円で下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

i 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

<オーストラリア高配当株式ファンド（年2回決算型）>

当ファンドは、マザーファンドを通じ、オーストラリアの企業が発行する株式を高位に組み入れる運用を行いました。

信託期間を通してみると、当ファンドの基準価額は、設定時に比べ1.7%の上昇となりました。

<第1期：設定時～2018年9月18日>

基準価額は設定時に比べ2.0%の上昇となりました。

<第2期：2018年9月19日～信託終了日>

償還価額は期首に比べ0.3%の下落となりました。

繰上償還に向け、AMP オーストラリア高配当株式マザーファンドの組入比率をゼロにしました。

<AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド>

基準価額は設定時に比べ5.1%の上昇となりました。

- ・ 銘柄選定にあたっては、健全な財務体質を有し、高い競争優位性や強固なキャッシュフローにより高い配当利回りが期待される銘柄の組み入れを行い、組入比率は高位を維持しました。

<第1期：設定時～2018年9月18日>

基準価額は設定時に比べ3.0%の上昇となりました。

- ・個別銘柄では、オーストラリアの医薬品会社である「CSL LTD」などが上昇した一方で、オーストラリアの総合金融グループである「AMP LTD」などが下落しました。
- ・豪ドルが対円で下落したことなどがマイナスに影響したものの、保有銘柄の株価上昇などがプラスとなり、基準価額は上昇しました。

<第2期：2018年9月19日～信託終了日>

基準価額は期首に比べ2.1%の上昇となりました。

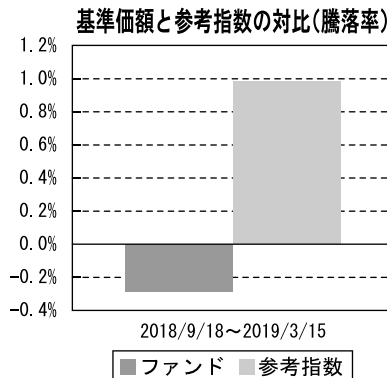
- ・個別銘柄では、オーストラリアの鉱物探査会社である「REGIS RESOURCES LTD」などが上昇した一方で、イギリスの銀行である「CYBG PLC - CDI」などが下落しました。
- ・豪ドルが対円で下落したことなどがマイナスに影響したものの、保有銘柄の株価上昇などがプラスとなり、基準価額は上昇しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

（第2期：2018/9/19～信託終了日）

i ベンチマークまたは参考指数と比較することで、期間中の運用内容を評価することができます。

- ・右記グラフは第2期を掲載しています。
- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数にはリートが含まれておりますが、実際の運用ではリートには投資していない点にご留意ください。
- ・参考指数はS & P / A S X 2 0 0 指数（配当込み、円換算ベース）です。
- ・なお、設定来の基準価額は1.7%の上昇、参考指数は5.5%の上昇となりました。



分配金について

信託期間中の収益の分配はありません。

償還価額

<オーストラリア高配当株式ファンド（年2回決算型）>

償還価額は、10,170円08銭となりました。

信託期間中はご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年9月19日～2019年3月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	77	0.787	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数)
（ 投 信 会 社 ）	(44)	(0.451)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(31)	(0.315)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.021)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	14	0.140	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（ 株 式 ）	(14)	(0.140)	
(c) そ の 他 費 用	27	0.277	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(27)	(0.276)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.001)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	118	1.204	
期中の平均基準価額は、9,791円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年9月19日～2019年3月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 9,704	千円 10,041

○株式売買比率

(2018年9月19日～2019年3月15日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	4,794,954千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	5,307,463千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.90	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2018年9月19日～2019年3月15日)

利害関係人との取引状況

<オーストラリア高配当株式ファンド（年2回決算型）>

該当事項はございません。

<AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	2,620	675	25.8 %	351	83	23.6 %

平均保有割合 0.2%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2018年9月19日～2019年3月15日)

期首残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	償還時残高(元本)	取引の理由
百万円 10	百万円 —	百万円 —	百万円 10	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2019年3月15日現在)

信託終了日現在、有価証券等の組入れはございません。

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	
		口	数
AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド			千口 9,704

○投資信託財産の構成

(2019年3月15日現在)

項	目	償 還 時	
		評 価 額	比 率
		千円	%
	コール・ローン等、その他	10,247	100.0
	投資信託財産総額	10,247	100.0

○資産、負債、元本及び償還価額の状況（2019年3月15日現在）

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	10,247,240
コール・ローン等	10,247,240
(B) 負債	77,159
未払信託報酬	77,085
未払利息	15
その他未払費用	59
(C) 純資産総額(A-B)	10,170,081
元本	10,000,000
償還差益金	170,081
(D) 受益権総口数	10,000,000口
1万口当たり償還価額(C/D)	10,170円08銭

<注記事項>

- ①期首元本額 10,000,000円
 期中追加設定元本額 0円
 期中一部解約元本額 0円

また、1口当たり純資産額は、期末1.017008円です。

- ②「AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の44以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

○損益の状況（2018年9月19日～2019年3月15日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 26
支払利息	△ 26
(B) 有価証券売買損益	48,524
売買益	48,524
(C) 信託報酬等	△ 77,144
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 28,646
(E) 前期繰越損益金	198,727
償還差益金(D+E)	170,081

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2018年3月5日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2019年3月15日		資 産 総 額	10,247,240円
区 分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負 債 総 額	77,159円
				純 資 産 総 額	10,170,081円
受益権口数	200,000,000口	10,000,000口	△190,000,000口	受 益 権 口 数	10,000,000口
元 本 額	200,000,000円	10,000,000円	△190,000,000円	1万口当たり償還金	10,170円08銭
毎計算期末の状況					
計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第1期	10,000,000円	10,198,727円	10,199円	0円	0%

○償還金のお知らせ

1 万口当たり償還金（税込み）	10,170円08銭
-----------------	------------

◆償還金は償還日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆課税上の取り扱い

- ・個人受益者の場合、償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益（譲渡益）が譲渡所得等として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。
- ・特定口座（源泉徴収選択口座）を利用する場合、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

【お 知 ら せ】

- ①全残存口数に対して受益者からの解約請求があり、約款第47条第1項に規定する「やむを得ない事情が発生」した場合に該当したため信託約款の規定に基づき、信託を終了しました。
(2019年3月15日)
- ②2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド

《第2期》決算日2019年3月15日

[計算期間：2018年9月19日～2019年3月15日]

「AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド」は、3月15日に第2期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第2期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主としてオーストラリアの株式に投資を行います。 株式等への投資にあたっては、人口動態分析、マクロ経済分析等のトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当利回り、割安度、業績および経営の質等の分析によるボトムアップ・アプローチを併用し、銘柄選定を行います。 株式等の運用にあたっては、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。 株式等の組入比率は高位を維持することを基本とします。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	オーストラリアの株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数)		株組入比率	株先物比率	純資産総額
	期騰落	中率	S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース)	期騰落			
(設定日)	円	%		%	%	%	百万円
2018年3月5日	10,000	—	10,000	—	—	—	199
1期(2018年9月18日)	10,297	3.0	10,452	4.5	95.8	—	3,662
2期(2019年3月15日)	10,509	2.1	10,554	1.0	97.1	—	6,049

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) S & P / A S X 200指数とは、S & Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが公表している指数で、オーストラリア証券取引所上場の浮動株調整時価総額上位200銘柄で構成される時価総額加重平均指数です。S & P / A S X 200指数(配当込み、円換算ベース)とは、S & P / A S X 200指数(配当込み)をもとに、委託会社が計算したものです。S & P / A S X 200はS&P Dow Jones Indices LLC(「SPDJII」)の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社に付与されています。Standard & Poor's[®]およびS&P[®]はStandard & Poor's Financial Services LLC(「S&P」)の登録商標で、Dow Jones[®]はDow Jones Trademark Holdings LLC(「Dow Jones」)の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJIIに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社にそれぞれ付与されています。当ファンドは、SPDJII、Dow Jones、S&Pまたはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P / A S X 200指数の誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません。

(注) 参考指数にはリートが含まれておりますが、実際の運用ではリートには投資していない点にご留意ください。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) S & P / A S X 200指数		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	騰 落 率	(配 当 込 み 、 円換算ベース)	騰 落 率			
(期 首) 2018年9月18日	円	%		%	%	%
	10,297	—	10,452	—	95.8	—
9月末	10,526	2.2	10,674	2.1	93.6	—
10月末	9,664	△ 6.1	9,832	△ 5.9	98.2	—
11月末	10,041	△ 2.5	10,160	△ 2.8	98.5	—
12月末	9,203	△ 10.6	9,295	△ 11.1	96.9	—
2019年1月末	9,814	△ 4.7	9,896	△ 5.3	98.7	—
2月末	10,380	0.8	10,460	0.1	98.0	—
(期 末) 2019年3月15日	10,509	2.1	10,554	1.0	97.1	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

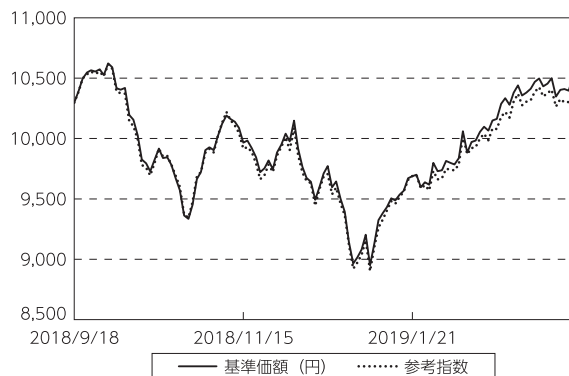
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ2.1%の上昇となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●投資環境について

◎株式市況

- ・オーストラリア株式市況は概ね横ばいとなりました。
- ・期首から2018年末にかけては、米中貿易摩擦への懸念や世界経済に対する不透明感が高まったことを受けて、リスク回避姿勢が強まり、下落しました。2019年初から期末にかけては国際商品市況の上昇や米中通商協議の進展期待などを背景に上昇しました。

◎為替市況

- ・豪ドルは、世界経済の不透明感の高まりや、米中貿易摩擦に対する警戒感などを背景に、対円で下落しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・銘柄選定にあたっては、健全な財務体質を有し、高い競争優位性や強固なキャッシュフローにより高い配当利回りが期待される銘柄の組み入れを行い、組入比率は高位を維持しました。

・主な売買銘柄は以下の通りです。

◎主な新規買付銘柄

・SPARK INFRASTRUCTURE GROUP（オーストラリア、公益事業）：健全な財務体質や将来的な配当成長期待などを評価し、新規に組み入れました。

◎主な全売却銘柄

・AMP LTD（オーストラリア、各種金融）：魅力的と考えていた生命保険事業の売却を発表したことなどを受け、全株売却しました。

・当期においては、豪ドルが対円で下落したことなどがマイナスに影響したものの、保有銘柄の株価上昇などがプラスとなり、基準価額は期首と比べて上昇しました。

パフォーマンスに影響した主な銘柄は以下の通りです。

（プラス要因）

◎銘柄

・REGIS RESOURCES LTD（オーストラリア、素材）：2019年における堅調な金生産見通しなどが好感され、株価は上昇しました。

（マイナス要因）

◎銘柄

・CYBG PLC - CDI（イギリス、銀行）：イギリスの欧州連合（EU）離脱に対する不透明感などが嫌気され、株価は下落しました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

・豪州株式市場は、資源関連を中心とした中国経済の減速による影響や、規制強化などによる銀行の収益性への影響などが懸念されます。2019年内に予定されている豪州の総選挙や経済環境への不透明感などから、豪州株式市場のボラティリティが高まる可能性があるかとみています。

◎今後の運用方針

・引き続き、健全な財務体質を有し、高い競争優位性や強固なキャッシュフローにより高い配当利回りが期待される銘柄を中心に組み入れていく方針です。
・セクター別では、金融セクターの中でもより景気サイクルに左右されにくい保険セクターなどに注目しています。

○1万口当たりの費用明細

(2018年9月19日～2019年3月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 14 (14)	% 0.142 (0.142)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	31 (31) (0)	0.311 (0.311) (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	45	0.453	
期中の平均基準価額は、9,920円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年9月19日～2019年3月15日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	オーストラリア	百株	千オーストラリアドル	百株	千オーストラリアドル
		71,790 (168)	44,290 (△ 86)	23,469 (34)	15,525 (-)

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2018年9月19日～2019年3月15日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	4,794,954千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	5,307,463千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.90

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2018年9月19日～2019年3月15日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 2,620	百万円 675	% 25.8	百万円 351	百万円 83	% 23.6

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2019年3月15日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	百株	百株	千オーストラリアドル	千円	
BHP GROUP LTD	1,141	1,152	4,281	339,266	素材
CSL LTD	98	170	3,353	265,713	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ALUMINA LTD	3,127	5,442	1,409	111,688	素材
WOODSIDE PETROLEUM LTD	139	242	847	67,133	エネルギー
AUST AND NZ BANKING GROUP	1,094	1,903	5,068	401,592	銀行
RIO TINTO LTD	197	282	2,594	205,568	素材
QBE INSURANCE GROUP LTD	1,243	2,178	2,703	214,188	保険
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL	424	686	5,010	396,998	銀行
WESTPAC BANKING CORP	502	874	2,325	184,300	銀行
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	445	775	1,943	153,991	銀行
BRAMBLES LTD	638	1,111	1,318	104,503	商業・専門サービス
BORAL LTD	1,528	2,095	1,016	80,529	素材
WOOLWORTHS GROUP LTD	476	1,059	3,202	253,737	食品・生活必需品小売り
TELSTRA CORP LTD	1,791	—	—	—	電気通信サービス
AMP LTD	2,217	—	—	—	各種金融
MACQUARIE GROUP LTD	140	125	1,588	125,877	各種金融
INSURANCE AUSTRALIA GROUP	906	1,528	1,193	94,564	保険
ORIGIN ENERGY LTD	961	4,001	2,909	230,526	エネルギー
WESFARMERS LTD	193	179	619	49,063	小売
JANUS HENDERSON GROUP-CDI	209	564	1,969	156,074	各種金融
DOWNER EDI LTD	1,378	2,398	1,784	141,373	商業・専門サービス
OIL SEARCH LTD	1,170	2,036	1,629	129,123	エネルギー
AGL ENERGY LTD	467	812	1,769	140,245	公益事業
ATLAS ARTERIA	1,314	2,287	1,589	125,955	運輸
DULUXGROUP LTD	864	—	—	—	素材
AURIZON HOLDINGS LTD	1,382	5,662	2,553	202,354	運輸
WHITEHAVEN COAL LTD	—	1,898	833	66,025	エネルギー
REGIS RESOURCES LTD	2,033	3,485	1,955	154,947	素材
APA GROUP	1,221	2,125	2,091	165,700	公益事業
JB HI-FI LTD	204	355	857	67,945	小売
CYBG PLC - CDI	903	7,642	2,858	226,497	銀行
BAPCOR LTD	1,074	1,858	1,120	88,819	小売
CARSALES.COM LTD	354	607	763	60,523	メディア・娯楽
ECLIPX GROUP LTD	787	—	—	—	各種金融
ESTIA HEALTH LTD	3,849	6,697	1,627	128,961	ヘルスケア機器・サービス
GENWORTH MORTGAGE INSURANCE	3,707	3,079	763	60,521	銀行
REGIS HEALTHCARE LTD	1,458	2,466	759	60,184	ヘルスケア機器・サービス
SPARK NEW ZEALAND LTD	1,802	3,089	1,081	85,683	電気通信サービス
SERVICE STREAM LTD	1,880	2,649	601	47,658	資本財
SOUTHERN CROSS MEDIA GROUP L	5,043	14,052	1,679	133,068	メディア・娯楽
RELANCE WORLDWIDE CORP LTD	1,400	2,437	1,118	88,645	資本財
TRADE ME GROUP LTD	1,741	—	—	—	小売
BEGA CHEESE LTD	550	—	—	—	食品・飲料・タバコ
SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	—	9,602	2,151	170,449	公益事業

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等	
		株 数	評 価 額		
			外貨建金額		邦貨換算金額
(オーストラリア) AUB GROUP LTD	百株 —	百株 904	千オーストラリアドル 1,172	千円 92,943	保険
合 計	株 数 ・ 金 額 52,068	株 数 100,524	74,115	5,872,946	
	銘 柄 数 < 比 率 > 42	39	—	<97.1%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2019年3月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 5,872,946	% 96.3
コール・ローン等、その他	222,938	3.7
投資信託財産総額	6,095,884	100.0

(注) 期末における外貨建純資産（6,019,739千円）の投資信託財産総額（6,095,884千円）に対する比率は98.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 オーストラリアドル=79.24円			
--------------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年3月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	6,095,884,288
コール・ローン等	124,505,411
株式(評価額)	5,872,946,864
未収入金	3,426,723
未収配当金	95,005,290
(B) 負債	46,060,684
未払金	46,060,669
未払利息	15
(C) 純資産総額(A-B)	6,049,823,604
元本	5,756,857,205
次期繰越損益金	292,966,399
(D) 受益権総口数	5,756,857,205口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,509円

<注記事項>

- ①期首元本額 3,557,231,565円
 期中追加設定元本額 2,672,551,279円
 期中一部解約元本額 472,925,639円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0509円です。

- ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)
 オーストラリア好利回り3資産バランス(年2回決算型) 5,756,857,205円

○損益の状況 (2018年9月19日～2019年3月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	163,735,677
受取配当金	163,560,356
受取利息	200,748
支払利息	△ 25,427
(B) 有価証券売買損益	40,964,494
売買益	334,438,693
売買損	△293,474,199
(C) 保管費用等	△ 16,974,524
(D) 当期損益金(A+B+C)	187,725,647
(E) 前期繰越損益金	105,558,014
(F) 追加信託差損益金	△ 551,279
(G) 解約差損益金	234,017
(H) 計(D+E+F+G)	292,966,399
次期繰越損益金(H)	292,966,399

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。